

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			法令に基づき適切なスペースを取っている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			法令を遵守した配置を行っている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			事業所内はバリアフリー化され、適切な配慮がなされている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			常勤スタッフ、パートスタッフともに参画している
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		本年度の評価表を基に本表を活用し業務改善に努める。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			本年よりこの自己評価の結果を法人HPにて公開する。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		見学で来所する学校教諭、相談支援専門員から印象、感想、改善点等を伺い、取り組んでいる。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			全体研修、事業所別の研修が行われている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントシートに基づき、スタッフが会議を行い話し合いながら個別支援計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			統一されたアセスメントシートを用いて状況把握に努めている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			スタッフ全員で話し合いをしている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			プログラムの内容が固定化しないよう、企画書を作成し変更している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇中に共同作品に取り組み完成させることができる。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメント、本人、ご家族様の意向を踏まえた上で、長期・短期の計画を立てている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		その場に残っているスタッフで行い、その後申し送り票にて情報共有している。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			ケース記録、連絡票に記録を取り、それらを再アセスメント、モニタリングに反映させ支援の検証・改善につなげている。	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			全スタッフで話し合い毎月モニタリングを作成し、目標に対する評価を行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか		○		アセスメント、面談、毎月モニタリングを通して本人に必要な支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者および当該児童の状況を熟知した施設長が参画している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			適切に行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	—	—	—	非該当
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			契約時の面談、アセスメント等を用いてご家庭から話を伺い情報共有をしている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			移行先の管理者へ情報提供を行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			こども発達支援センターおリーぶと連携し、本人、家族、学校で起こる課題とその対応に関して助言を受けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		定期的に社団法人内の活動(フットサル)において障害のない子どもと交流を図っている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	機会を作り参加したい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			共通理解を持てるよう積極的に会話し、取り組んでいる。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		帰宅時にご家族様と日々の振り返りを共に行ったり、電話や面談時に頂いた子供との接し方などに関する相談に対して助言等で対応している。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に時間をかけて行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			即答できない場合もあるが、その場合は必ず相談支援専門員や上司に確認を取り、返答を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	父母の会設立に関して賛否両論頂いており、現状では開催されていない。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			重要事項説明書など、契約時に苦情相談窓口を明示し、できる限り速やかに対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			「会報」は出していないが、毎月の行事カレンダーと「おりおり通信」にて行事予定や活動概要を発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			送迎、活動中を含め適切に扱っている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			アセスメント、ご家族様の要望に鑑み、個別に配慮している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			民生委員の方にも声掛けをし、地域の方も参加できる「おりおり祭り」を12月に開催している。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルに関して前2項目の策定を今後進めていきたい。保護者の方への周知はなかった。一方、災害時の緊急避難先をご家族様へ契約時に説明し、定期的に行っている避難訓練の詳細に関しても必ず報告している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			全体研修にて理解を深め、適切に対応している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		やむを得ない状況を想定し、身体拘束することを契約時同意を得てアセスメントなどに記入しているものの、個別支援計画書には記載していない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			医師の指示書に基づき、契約時・定期面談時にご家族様よりアレルギーの有無、詳細を伺っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット報告書の作成と会議を行い、事業所内で情報共有を行っている。

